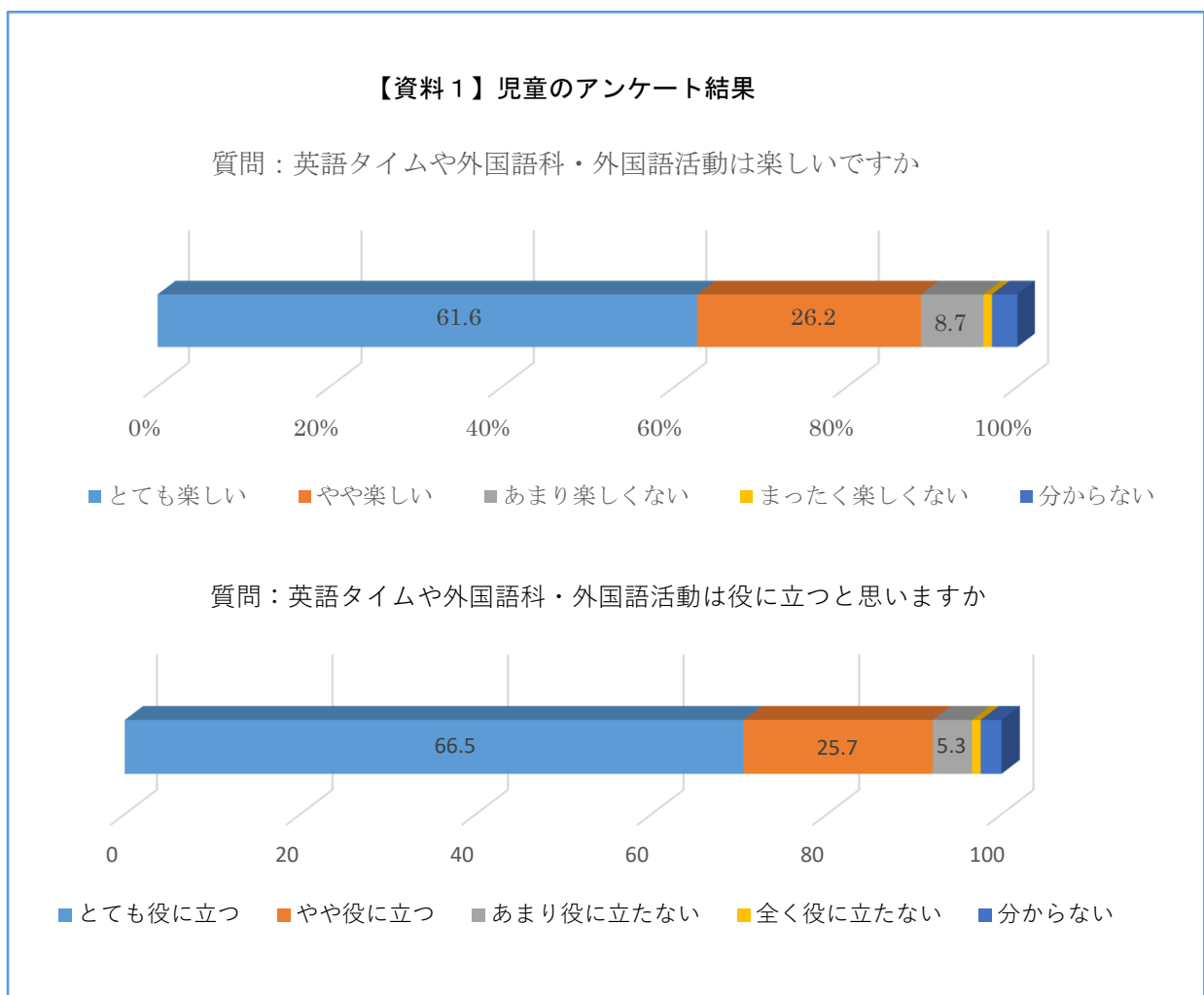


令和4年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和4年度全校児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや外国語科、外国語活動が楽しは楽しいですか」という質問に対し、「とても楽しい」、「やや楽しい」と回答した児童は、全体の87.8%であり、「あまり楽しくない」「まったく楽しくない」「分からない」と答えた児童を大きく上回った。また、「英語タイムや外国語科、外国語活動は役に立つと思いますか」という質問に、「とても役に立つ」、「やや役に立つ」と回答した児童は、全体の92.2%だった。このことから児童自身が英語タイムを楽しんで行い、その価値を実感していることがうかがえる。



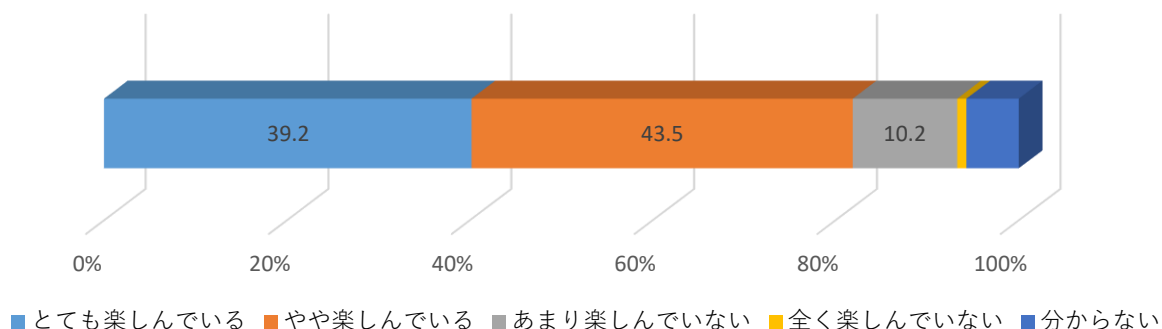
2 学校関係者評価結果

令和4年度に行った保護者向けのアンケートでは、「子供は英語タイムや外国語活動を楽しんで行っていますか」という質問に対し、「とても楽しんでいる」「やや楽しんでいる」との回答は、全体の82.7%あり、「あまり楽しんでいない」「まったく楽しんでいない」「分からない」を大きく上回った。このことから英語活動によって子供が楽しく英語を学んでいる

ことを保護者に理解していただいていることがうかがえる。

【資料2】保護者のアンケート結果

質問：子供は英語タイムや外国語活動を楽しんで行っていますか



3 まとめ

資料1から、児童は日々のDVD視聴の価値を実感した上で、担任と共に楽しんで英語活動に取り組んでいると言える。また、資料2では、子供たちが日々楽しんで英語活動に取り組んでいることが保護者にも伝わっていることがうかがえる。しかし、「とても楽しい」「やや楽しい」と感じている児童は87.8%いるのに対し、保護者は82.7%にとどまり、5%ほどの差が見られる。これは、楽しく取り組んだ英語活動の成果を自宅で披露したり、英語活動の様子が自宅で話題に上ったりすることが少ないことが原因ではないだろうか。また、1割にも満たないものの英語活動が「あまり楽しくない」「まったく楽しくない」と感じている児童が

いることも確かである。内容を理解し、その価値を自覚することで英語活動は、楽しくなっていくものと思われる。今後の課題としては、一人も取り残すことなく、英語活動を楽しみ、英語に親しめるよう、DVD視聴の際に子供の様子をよく見取り、個に対する

【資料3】DVDの内容を理解し、反応する1年生の子供たち



支援をしていく必要がある。また、英語活動の様子を御家庭にも伝え、学校で学んだ英語を家庭でも使う機会を設けることで、より英語に親しむことができると考える。